

7/23

市長と意見交換

第

3回目となる「どこでん市長室」で、シルバー人材センター「シルバーサポートにじ」の皆さんを訪問しました。

現在「にじ」のメンバーは、同センターの女性会員のみ30人で構成され、家事や高齢者の生活支援、子育てに関する仕事の技術向上のための勉強会や情報交換を通じて、やりがいを感じながら楽しく活動されています。

「高齢者の日常生活の延長にあるさまざまな支援ができるよう、もっと勉強していきたい」などの意欲的な意見も多く寄せられ、今後の活躍が期待されます。

どこでん市長室「シルバー人材センター『シルバーサポートにじ』」



8/19

大規模災害時に迅速な対応を

市

と長崎県LPガス協会大村支部の間で、「災害時におけるLPガス供給に関する協定書」の調印式を行いました。

この協定は、市内で地震や風水害などの大規模な災害が発生した場合に、炊き出しや寒さをしのぐために使えるよう、公共施設や避難所などへ迅速にLPガスを供給することを目的として、災害時の応援体制を整えたものです。

今後も災害に強いまちづくりに向けて、関係各機関との連携をより一層強めるための体制を整えていきます。

災害時におけるLPガス供給に関する協定書調印式



8/19

市民の視点に立った行政評価を

公

募委員や学識経験者などで構成される外部評価委員会(山口純哉委員長)による、市の事業の公開評価を、郡コミセンと市コミセンで実施しました。

今回は、同委員会が事前に選んだ9項目11事業について3日間で評価が行われ、その様子を市民の皆さんにも公開しました。

評価の中では、外部評価委員ならではの視点で、さまざまな質問や指摘が出され、事業のこれからの方向性について意見が交わされました。

行政評価外部評価公開



8/26

地元の切実な声を届けるために

官

民で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会(会長・松本市長)」が、県選出国会議員や国土交通省に対して要望活動を行いました。

同期成会は、「国道34号大村拡幅区間の早期完成」、「市内幹線道路2路線の早期整備」、「国道34号大村一諫早間の4車線早期事業化」について、渋滞状況の写真や地図を示し、地元の切実な声を届けました。

今後とも県や関係自治体などと連携を強化し、幹線道路網の早期整備を促進していきます。

国道34号大村拡幅等の整備促進に関する要望活動



8/27

被災した姉妹都市の仙北市を慰問

8

月9日、東北地方を襲った豪雨で、姉妹都市の秋田県仙北市が大きな被害を受けたことに伴い、小野副市長が現地を訪れ、門脇光浩仙北市長を慰問しました。

仙北市を襲った記録的な大雨は、各地で土砂災害や河川の氾濫などの大きな被害をもたらしました。市内の先達地区では、大規模な土石流が発生し、懸命な捜索活動や復旧作業にあたりましたが、死傷者が出たり、建物全壊などの被害に遭いました。

被災された仙北市の皆さんに、心からお見舞い申し上げます。

仙北市を慰問

